

令和7年大分県観光統計調査(令和7年1月～令和7年12月・確報)の概要

令和8年8月4日

大分県商工観光労働部 観光局 観光政策課
(調査・分析: ツーリズムおおいた)

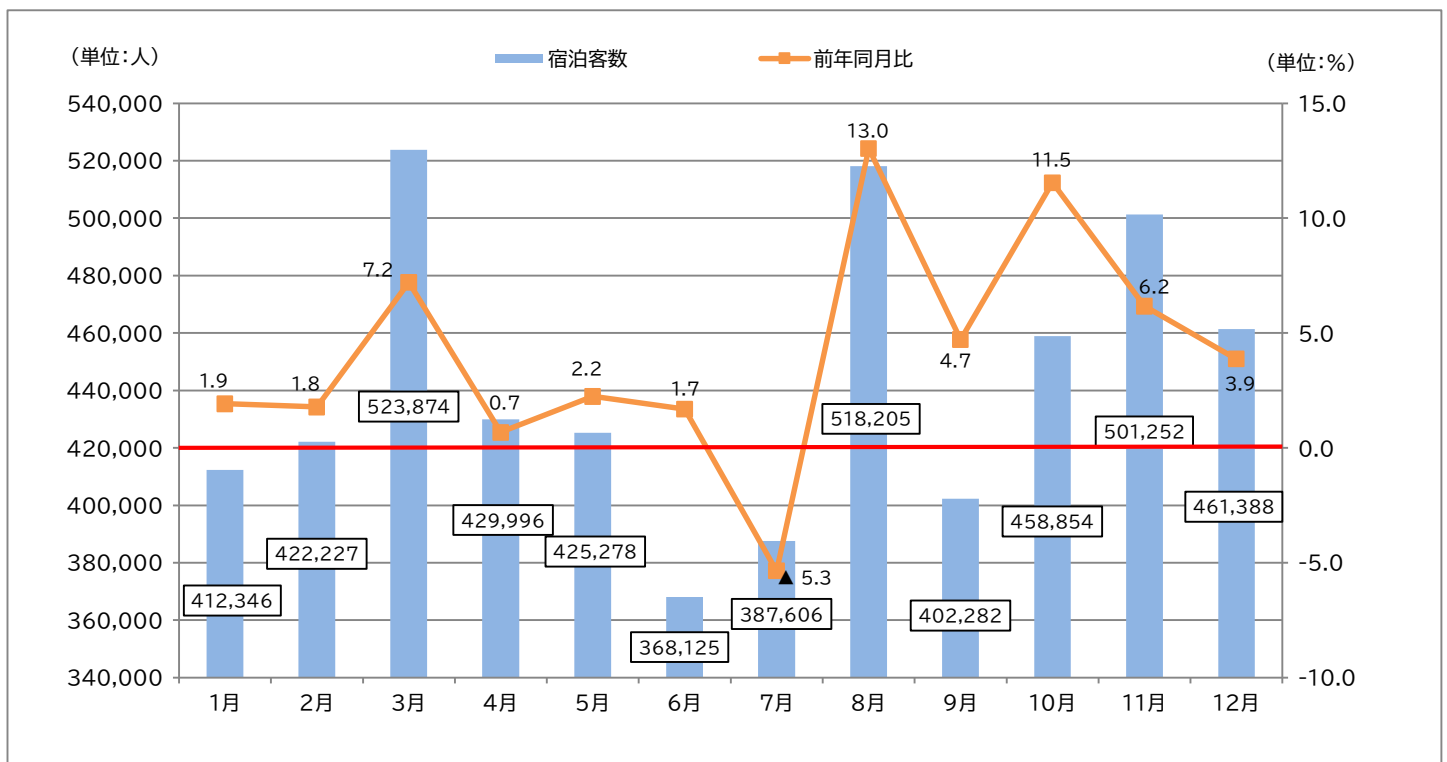
・この調査は、従業員10人以上の県内の宿泊施設の宿泊客数(192施設 令和7年1月時点)及び、主要有料観光施設(27施設)の交流客数などを調査したものです。従業員10人未満も含む県内全宿泊施設を対象とした宿泊客数調査については、観光庁「宿泊旅行統計調査」を参照ください。

- ・令和7年の宿泊客数は、令和6年と比べ4.3%増加した。
- ・国内宿泊客数は、令和6年と比べ3.1%増加した。
また、国内宿泊客の構成を居住地別に見ると、福岡県からの宿泊客が最も多く(構成比26.7%)、次いでその他九州(県内・福岡県除く)・沖縄(17.4%)、関東(17.1%)からとなっている。
- ・外国人宿泊客数は、令和6年と比べ8.8%増加し、こちらも過去最高値となった。
また、外国人宿泊客の構成を国籍・地域別に見ると、韓国からの宿泊客が最も多く(構成比47.8%)、次いで台湾(20.7%)、中国(9.1%)、香港(9.0%)の順となっている。

1 令和7年の県内宿泊客の動向

令和7年の県内宿泊客数は全体で5,311,433人泊となり、令和6年と比べて4.3%増加した。国内宿泊客数については前年比3.1%の増、外国人宿泊客数は前年比8.8%増加した。これらの要因として、外国人宿泊客数の増加は、4月に大分空港との直行便が就航した台湾(前年比34.1%増加)、欧米豪からの宿泊客数の伸び(米・英・仏・豪で前年比40.9%増加)等が寄与している。また、国内宿泊客数の増加は、8月の音楽イベントの開催や宇佐神宮御鎮座1300年での誘客促進等の取組に加え、観光関係者による温かなおもてなしと日々のたゆまぬ努力の成果によるものと考えられる。

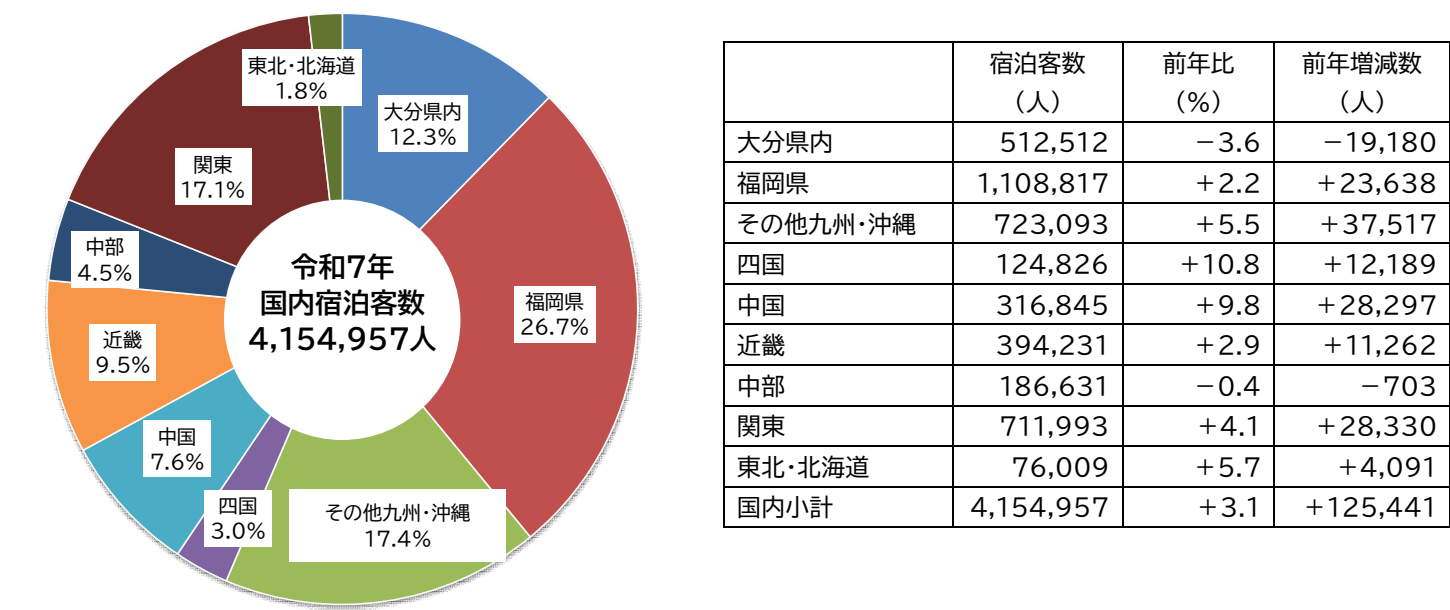
【図表1】令和7年別宿泊客数(確報)



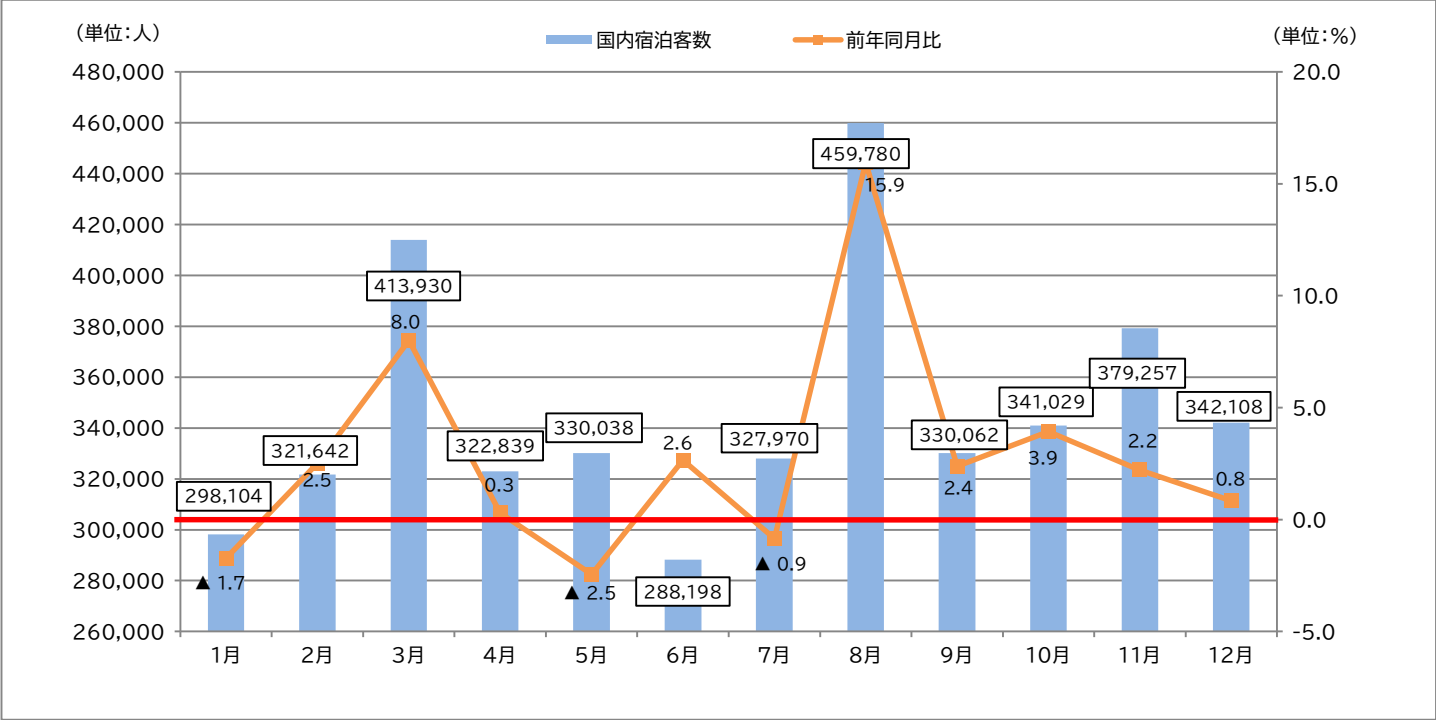
2 国内宿泊客の動向

令和7年の国内宿泊客数は、令和6年と比べて 3.1%増加した。
構成比で見ると、福岡県からの宿泊客数が最も多く、全体の26.7%を占めている。次いで、その他九州・沖縄が17.4%、関東が17.1%となっている。
発地別に見ると、福岡県をはじめとする九州各県からの宿泊客が順調に増加したほか、四国や中国、関東、東北・北海道など遠方からの宿泊客も伸びており、広域からの誘客も進んでいる。【図表2】
月別推移を見ると、8月はクラサドーム大分で開催された音楽イベントの影響等により大幅に増加しているものの、令和6年4～6月に開催されたデスティネーションキャンペーンによる増加の反動から同月は減少または増加幅が小さくなっている。【図表3】

【図表 2】国内宿泊客の構成比及び宿泊客数



【図表 3】令和7年月別国内宿泊客数



3 外国人宿泊客の動向

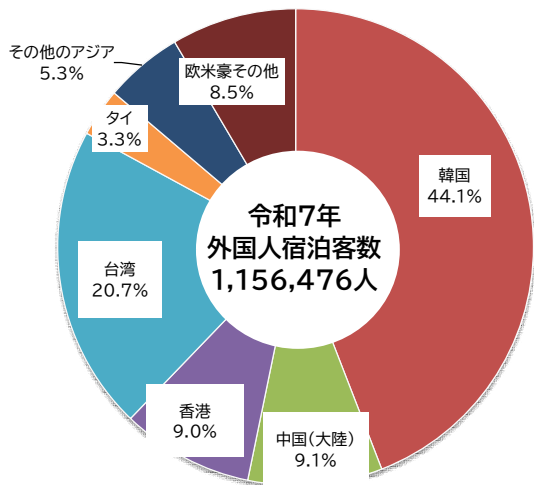
令和7年の外国人宿泊客数は、令和6年と比べて 8. 8%増加した。

国籍別の構成比では、韓国からの宿泊客が最も多く、全体の44. 1%を占めた。次いで多かったのは台湾、中国(大陸)、香港の順であり、東アジア圏が全体の約83%を占めている。

国別に見ると、4月から運航を開始したタイガーエアの就航等の効果により台湾が前年比34. 1%増と好調の他、中国が前年比32.9%と増加した。また、欧米豪からの宿泊客が大きく増加している。【図表4】

月別推移を見ると、日本で大地震が起きるとい噂が広がった影響により夏季期間で減少したものの、夏季期間以外では概ね前年を上回っている。【図表 5】

【図表 4】外国人発地別宿泊客数および構成比



	宿泊客数 (人)	前年比 (%)	前年増減数 (人)
韓国	509,951	+0.3	+1,334
中国(大陸)	105,604	+32.9	+26,120
香港	103,776	-26.0	-36,368
台湾	239,678	+34.1	+60,981
タイ	37,794	-3.7	+1,466
その他のアジア	61,364	+31.1	+14,558
その他の外国※	98,309	+39.9	+28,027
外国小計	1,156,476	+8.8	+93,186

※欧米豪その他の内

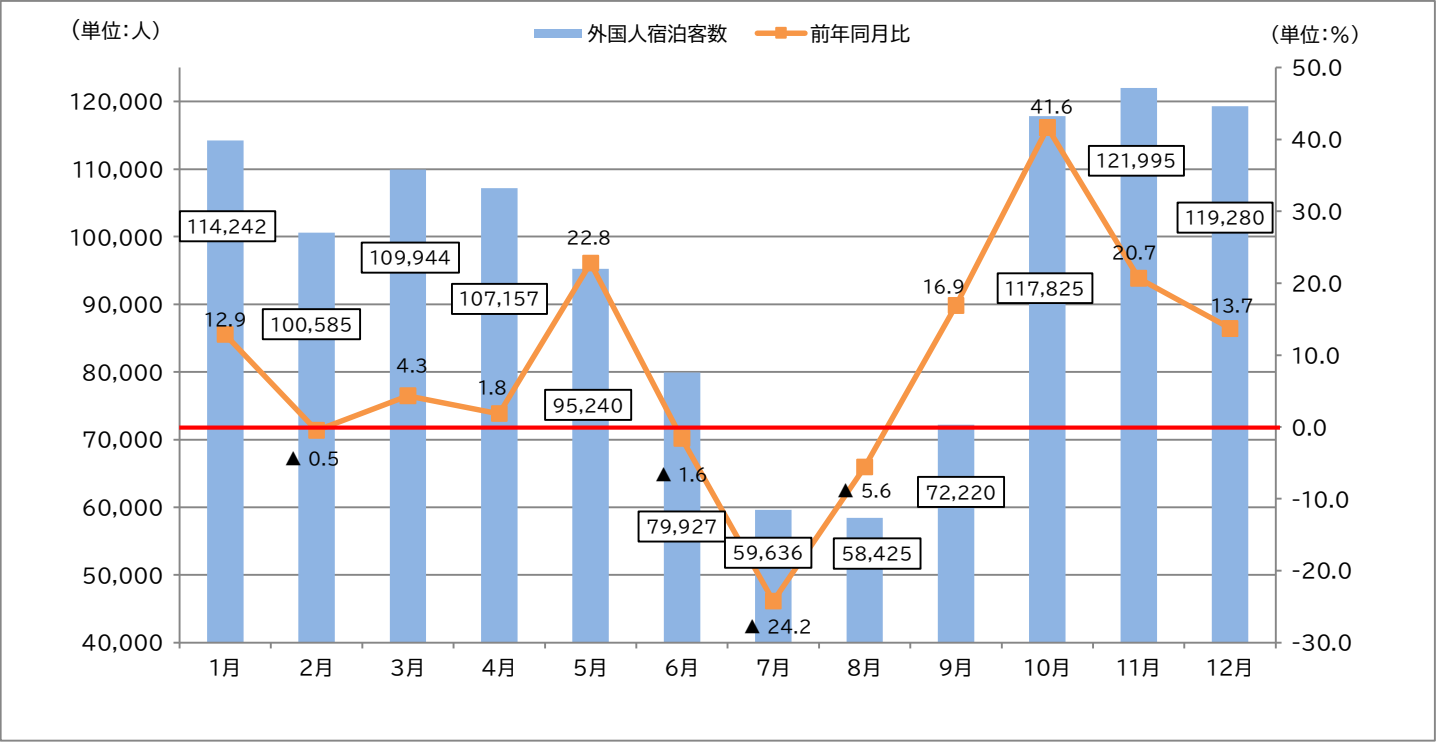
米： 30,089 人(前年比 +36.2)

英： 7,623 人(前年比 +25.0)

仏： 7,824 人(前年比 +65.1)

豪： 21,068 人(前年比 +46.9)

【図表 5】令和7年月別外国人宿泊客数



4 市町村別宿泊客

令和7年の県内宿泊客数を市町村別に見ると、別府市が最も多く、全体の 51.2%を占める。
前年比では別府市、由布市、九重町で増加した。【図表 6】

【図表 6】市町村別宿泊客数

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)	前年増減数 (人)	構成比 (%)
大分市	1,302,589	-3.7	-50,523	24.5
別府市	2,720,011	+7.7	+193,660	51.2
日田市	224,569	-2.5	-5,760	4.3
竹田市	97,815	-3.9	-4,022	1.8
由布市	418,290	+9.4	+35,857	7.9
九重町	48,480	+17.4	+7,191	0.9
その他の市町村	499,679	+9.2	+42,224	9.4
県計	5,311,433	+4.3	+218,627	100.0

5 県内交流客数

大分県観光統計調査では、県内交流客数として、有料観光施設の入場者数や道の駅レジ打ち数等の項目について調査しており、その結果は以下のとおりとなった。

・有料観光施設(入場者数)	7,241,068 人 (対前年比 +21.9%)
・道の駅(レジ打ち数)	3,525,913 回 (同 +7.2%)
・大分空港(乗降客数)	1,941,077 人 (同 +1.8%)
・県内港湾乗降客数	1,801,457 人 (同 +8.4%)

【参考】調査対象有料観光施設¹(合計 27 施設)

屋内施設(11 施設)	市町村
大分マリーンパレス水族館「うみたまご」	大分市
大分県立美術館	
大分市立美術館	
スギノイパレス	別府市
大分香りの博物館	中津市
福沢旧居・資料館	
中津城	日田市
サッポロビール九州日田工場	
地底博物館鯛生金山	
富貴寺	豊後高田市
安心院葡萄酒工房	宇佐市

屋外施設(16 施設)	市町村
高崎山自然動物園	大分市
別府地獄めぐり(別府地獄組合)	別府市
別府ロープウェイ	
城島高原パーク	
別府ラクテンチ	臼杵市
臼杵石仏	
うみたま体験パーク「つくみイルカ島」	津久見市
くじゅう花公園	竹田市
岡城跡	
昭和の町	豊後高田市
熊野磨崖仏	
真木大堂	
るるパーク	杵築市
九州自然動物公園アフリカンサファリ	宇佐市
ハーモニーランド	日出町
九重夢大吊橋	九重町

¹ 令和 3 年調査から、中津城、うみたま体験パーク「つくみイルカ島」を対象施設として追加した。
令和7年調査から、大分香りの博物館、るるパーク、九重夢大吊橋を対象施設として追加し、アクアビート、滝廉太郎記念館、風連鍾乳洞、稲積水中鍾乳洞、朝倉文夫記念館、国東市歴史体験学習館「弥生のムラ」を除外した。